

野球

7月6日、秋田県鹿角市城山球場で行われた第30回全日本少年軟式野球大会東北（Bブロック）予選大会で山田中野球部が準優勝に輝きました。



準優勝した山田中野球部

年軟式野球大会東北（Bブロック）予選大会で山田中野球部が準優勝に輝きました。

6月22日から29日まで本町で行われた県予選では、各地区予選を勝ち抜いた28チームが出場しました。盤石な強さで勝ち上がる同野球部は、決勝戦で水沢南中と対戦。特別延長の末、3対2の劇的なサヨナラ勝ちで東北大会への出場を決めました。

北東北3県の代表などの4チームで争われる同大会東北予選。準決勝では、十和田中学校（秋田県）と対戦し、7対0の圧勝で決勝へと駒を進めました。迎えた天王南中学校（秋田県）との決勝戦。先制を許した同野球部はその後も2点追加され、最終回までに0対5の苦しい状況でした。しかし、同野球部が意地を見せ怒涛の勢いで4点を取り返しました。あと1歩のところで敗れてしまいました。同大会ではこれまでの最高順位となる堂々の準優勝でした。

加藤三範主将（山田中3年）は「一人一人が最高のプレーをすることができた。その結果、東北大会準優勝ができてうれしい。後輩たちには、僕たちができなかった全国大会に出場できるようにがんばってほしい」と、後輩たちへ全国大会出場への思いを託します。

町内の小・中学生、高校生が県民体育大会などの各種大会で上位入賞を果たし、その活躍ぶりが光りました。ここでは、上位入賞した選手たちを紹介します。



柔道



柔道で入賞した皆さん

7月7日に県営武道館（盛岡市）で行われた第9回岩手県中学男子柔道体重別選手権大会で81キ超級で山崎翔偉くん（山田中3年・写真前列左）が優勝。81キ級で下村竜大くん（同3年・後列中央）が3位、60キ級で後藤尚真くん（同3年・後列左も3位）となりました。優勝した山崎くんは「練習の成果を十分に発揮し、優勝できて良かった。次は中学生生活最後の中総体で全

国まで勝ち上がってきたい」と話しました。下村くんは「試合は押していたが、気を抜いた瞬間に技を掛けられた。悔しい結果だが、次は集中して優勝を目指したい」と気合を入れ直します。後藤くんは「3位に入っているけれど、準決勝で勝って決勝にいきなかった。中総体では決勝までいくように練習をがんばります」と、さらなる活躍を誓います。

同日行われた第29回岩手県女子柔道体重別選手権と第10回岩手県小学生学年別柔道大会では、女子52キ級で木下葵さん（同2年・前列右）が準優勝し、小学6年生男子重量級（50キ超級）で木下慶輔くん（山田南小6年・後列右）が3位となりました。

木下葵さんは「まだまだ練習が足りない。集中して練習に取り組み、中総体で上位を狙いたい」と話しました。「いつも負けていた相手に勝ち、3位に入ることができてうれしい。次はもっと上を目指します」と、木下慶輔くんは決意を新たにしています。

陸上 競技

7月5日から7日まで行われた岩手県民体育大会陸上競技（県営運動公園・盛岡市）男子3000メートルで梶山拓郎くん（山田中3年）が優勝しました。高校1年生も出場した県民体育大会3部男子。スタートから上位につけた梶山くんは、最終周でスパートし、一気に1位に躍り出ました。そのまま独走状態で走りきり、9分13秒25でゴール見事、栄冠を勝ち取りました。梶山くんは「1位になれてうれしかった。でも標準記録を突破できず残念。タイムで9分を切れるように日々の練習を全力で行いたい。これからジュニアオリンピックや駅伝大会で良い成績を残したいです」と、次なる目標に闘志を燃やします。



7月14日に行われた第29回全国小学生陸上競技交流大会岩手県大会（県営運動公園・盛岡市）のソフトボール投げで大沢小6年の福士幸範くんが69メートル92センチで見事1位に輝きました。また、走り幅跳びで山田南小6年の木澤拓夢くんが4メートル46センチで5位入賞を果たしました。各地区予選を勝ち抜いてきた強肩自慢30人で争われたソフトボール投げ。全3回の投てきで順位が決定します。福士くんは普段、大沢野球スポーツ少年団に所属していて、日夜野球の練習に励んでいます。大会ではリラックスして投げられたと話す福士くん。2回目の投てきでこの日1番の記録を出しました。「1位になれてとてもうれしい。全国大会でも1位を目指してがんばります」と、全国大会に向けた思いを話しました。

若き選手たちの活躍

漕艇

6月29日から30日まで盛岡市の御所湖で行われた岩手県民体育大会ボート競技で山田高校ボート部の部員らが優秀な成績を残しました。

男子シングルスカルで全国1位の実力を見せつけ優勝した山根慶大くん（山田高3年・写真右）は「気の抜けないレースだった。最初から攻めるレース展開で自分のペースで漕ぐことができた」と振り返ります。男子ダブルスカルで2位となった織笠瞬くん（同2年・右から2番目）は「この大会の前に行われた東北大会では優勝していただけにすごく悔しい。秋に行われる新人戦では優勝を狙う」と次の目標に気持ちを切り替えます。ペアを務めた千葉直樹くん（同3年・中央）は「スピードに乗れずいいレースではなかった。高校生最後となる国体出場へ向けて努力します」と強いまなざしで答えました。

女子シングルスカルでは、佐々木かな子さん（同3年・左

から2番目）と鈴木彩加さん（同2年・左）が優勝、準優勝。また、女子ダブルスカルの織笠楓さん（同3年）と川村媛那さん（同2年）が準優勝を果たしました。優勝した佐々木さんは「決勝ではわたし以外、下級生だったので絶対に勝つしかないと思った。優勝という結果でよかった」と話します。「準優勝できてとてもうれしい。でも先輩の壁は厚かった。新人戦では優勝する」と鈴木さんは、笑顔で話しました。



【3】 山田高校ボートの皆さん